

# 麻 醉 説 明 書

氏 名： \_\_\_\_\_ 様

麻 酔： 麻酔科管理       全身麻酔(気管挿管・ラリングマスク・人工呼吸)

腰椎(脊椎くも膜下)麻酔     硬膜外麻酔     末梢神経ブロック     局所麻酔

## 麻酔に伴う危険についてご承知いただきたいこと

麻酔薬・麻酔管理技術・麻酔監視モニターなどの進歩により、麻酔に関する安全性は著しく向上しています。しかし、麻酔に限らず多くの医療行為にはリスク(身体へのダメージ)が伴います。その危険の度合いは、手術の内容や年齢・体質・全身状態・持病などによって異なりますが、生命にかかわる合併症の危険率は麻酔管理症例のうち数万例に一例程度(死亡症例は約10万例に一例)ときわめてまれなものです。当病院では安全を第一に、患者さんの全身状態に十分注意して、合併症の発生防止に最善の努力をしていますが、まれではあります以下のような合併症が起こる可能性をご了承ください。

全身麻酔に伴うもの (腰椎麻酔などの効果が不十分の際に、全身麻酔に変更することがあります)

①吐き気・嘔吐・頭痛 ②喉の痛み、声のかすれ・発声異常、歯のぐらつき・脱落 ③喉頭浮腫、喉頭けいれん ④特殊な体位による筋力低下・四肢の痛み・視力障害 ⑤不整脈・虚血性心疾患など ⑥気管支喘息、誤嚥性肺炎、気胸などの呼吸器合併症 ⑦体温の異常上昇に伴う全身の臓器障害(悪性高熱症) ⑧静脈血栓による肺塞栓症 ⑨手術中の記憶の残存 ⑩脳神経系の障害、けいれん、意識障害 ⑪薬剤アレルギー、肝・腎障害、ショック、心停止など ⑫その他 \_\_\_\_\_

腰椎(脊椎くも膜下)麻酔     硬膜外麻酔     末梢神経ブロック     局所麻酔    に伴うもの

①吐き気・嘔吐、頭痛、腰・背部痛 ②麻酔効果範囲の拡大による血圧低下、呼吸抑制 ③注射部位の痛み ④特殊な体位による筋力低下・四肢の痛み・視力障害 ⑤手術部位や脊髄周囲への感染・膿瘍 ⑥脊髄・脳神経系の障害、けいれん、意識障害 ⑦ブロック針やカテーテル挿入に伴う血腫、神経障害 ⑧静脈血栓による肺塞栓症 ⑨薬剤アレルギー、肝・腎障害、ショック、心停止など ⑩その他 \_\_\_\_\_

合併症を疑わせる症状が認められた場合には、救命ならびに後遺症を最小限にするためのあらゆる努力をいたします。その際に、予定された手術・麻酔とは異なった治療が行われることがありますので、宜しくご承知おきください。

以上、麻酔に関しての内容、合併症について説明いたしました。

説明担当医：

緊急手術を除き、麻酔科医が麻酔管理を行う場合、麻酔の手順や合併症について説明、診察をいたします。ご質問がありましたら、その際に納得できるまでご相談ください。